

○1番 山崎拓磨議員

1番議員の山崎拓磨です。私にとっての沼津の誇りは人情味だと思います。私は、仲見世商店街で生まれ育ちました。アーケードの通りが遊び場で、商店街のおじさんやおばさんたちに様々なことを教わり成長しました。人情味のある商店街です。この人情味という言葉が沼津の特徴を表わしているように思います。商店街から狩野川に抜ける風光明媚な景色、そして、港湾における活気あるかけ声とやる気、そして、人々の笑顔、そのすべてが沼津です。先人が大切にしてきた人とのつながり、ともに共有してきた喜びや悲しみが今のあたたかい沼津を作ったのだと思います。私もこの機会に新たにまちというものを考え、沼津を大事に、そして、自分なりに今一度見つめ直していきたいです。

○2番 小川優花議員

2番議員の小川優花です。私にとっての沼津の誇りは人の温かさです。そう考えたのは、家族や友人の存在です。生まれも育ちも沼津の私は、この沼津での思い出がたくさんあります。先日、私が通っていた小学校周辺を歩く機会がありました。たしかに当時の風景と比べると変わっている所がありましたが、私自身の思い出は、そこを通るだけで鮮明に覚えているものもありました。きっとこの思い出を大切にしているのは、多くの地域の方々が、私たちを支え、学校生活を盛り上げてくださったからだと思います。このように振り返ると沼津で過ごした20年間は多くの人の支えがあって成り立っていることを実感しました。だからこそ、これからも沼津にいたいと思いますし、これから、成人を迎える方々にもそう思っただけけるよう、次は私自身が沼津、地域に貢献ができるように、小さなことから始めていきたいと思います。

○3番 川島幸樹議員

3番議員の川島幸樹です。私にとっての沼津の誇りは自然環境の豊かさだと思っています。沼津市は愛鷹山と豊かな駿河湾に囲まれており、多種多様な生物が暮らしております。特に、獅子浜、平沢、大瀬崎といった三つのダイビングスポットにおいて、身近にマリンスポーツを楽しむとともに、海の生物を観察することができます。しかし、近年の大規模な気候変動、地球温暖化、マイクロプラスチックなどの多くの原因が多大な影響を及ぼしています。私にとっての挑戦は海洋生態系の保全活動に参加し、今起こっている海の現状を多くの人に知ってもらうことだと思っています。

○10番 久保田真帆議員

10番議員の久保田真帆です。私にとっての沼津の誇りは美しい自然とそこから得られる恵です。私は今、沼津を離れて生活しておりますが、このまちを出て初めて、富士山が見えないことを寂しく感じたり、沼津では新鮮な海産物やおいしい水が得

られていたことを実感したりしました。それらは沼津で生活しているうちは当たり前になっていたので、それこそが誇れるものであったのだと気づきました。当たり前前の大切さを忘れずに、何事にも誰に対しても感謝と思いやりの心を持てる、そのような人間になりたいと思います。それが私にとっての挑戦です。

○9番 上面友也議員

9番議員の上面友也です。私が思う沼津の誇りは、優秀な教育者の方々です。私が第五中学校に在学中、担任の先生方から勉学のみならず、計画性や責任感など人としての常識も教えていただきました。もし私が親になっても、自分の子供を沼津の教育者の方々になら安心して任せられると思います。次に、沼津が行うべき挑戦として、私は沼津のブランド化だと思います。IT技術の発達により、昔のように、ハイコストでテレビにコマーシャルを出すことなく、ローコストで安く広く宣伝することができるようになってきました。沼津の知名度を上げるために行動するべき時だと私は思います。

○8番 大久保日奈議員

8番議員の大久保日奈です。私にとっての沼津の誇りは「ラブライブ！サンシャイン!!」による観光の活性化です。沼津市全体で力を入れて取り組んでいる事業が、実際に観光客増加へと繋がっているところがとても素晴らしいと思っています。そして私にとっての挑戦は沼津の農業への貢献です。私は現在、お茶の品種改良についての研究を行っているため、沼津のお茶農業を活性化できるように努めていきたいと思っています。

○21番 森尻悠太議員

21番議員の森尻悠太です。私にとっての沼津の誇りはきれいな海や山といった自然です。沼津港に行けば新鮮な魚を食べることができるし、毎日富士山を見ることができる、これは素晴らしい財産だと思います。そして私にとっての挑戦とは人のために何ができるかを考え続けることです。更に言うと、自分の興味のある経営の分野で将来何ができるかを考えることが私にとっての今後の挑戦だと考えています。その挑戦の舞台に立てるよう、またいつか沼津に貢献できるよう、日々努力していきたいと思っています。

○22番 山田晃菜議員

22番議員の山田晃菜です。私にとって、沼津の誇りは小中高と過ごしてきた学校です。私は大学で教員になるべく学んでおり、それと関連して沼津の教育現場でのチーム学校という取り組みに関心を持ちました。地域人材の活用やチームとして学校を

支えていくのはすばらしい取り組みだと思います。スクールガードや読み聞かせのボランティア、部活の外部コーチの方々に自分を支えていただいたことに感謝しております。これからは自分の挑戦として支える側として学校に携わっていかれたらと思います。

○23 番 坂倉洋輝議員

23 番議員の坂倉洋輝です。私の沼津の誇りは昨年の台風 19 号において、大変大きな被害を被らずに済んだということです。なぜそう感じたかいうと、昔狩野川台風という台風があり、そのときに甚大な被害を被ったということがあり、その教訓をもとに、今ではしっかりと災害対策を行い、実際に昨年はそこまで大きな被害を被らずにすることができた。そのことは実際に誇っていいことだと私は思います。

○24 番 渡辺美月議員

24 番議員の渡辺美月です。私にとって沼津の誇りとは沼津の各地に点在する祭りです。花火大会を中心に、沼津の各地には、それぞれの地域に根ざした文化的そして伝統的な祭りがあると思います。私の生まれ育った静浦地区の江浦では、浦安の舞という舞を小学校の頃から習い、それを、祭りで披露するというものがありました。このように文化的に大変価値のあるお祭りが沼津のあちこちに散らばっています。そして挑戦といたしましては、過疎化の激しい沼津の各地でそれらの文化的な祭りを活用して、地域の活性化及びアピールをしていくというのが挑戦だと思います。

○25 番 大沼虎之介議員

25 番議員の大沼虎之介です。私にとっての沼津の誇りは豊かな自然です。私の住む長井崎校区では、自然が豊かで、とてもいい場所だと私は思っています。しかし、「ラブライブ!サンシャイン!!」の人気などにより、近年、観光客がとても増えています。それにより、ごみのポイ捨てなどが増えていると私は考えています。そして、そのごみのポイ捨てなどを減らせるような活動をしていけるようにしていきたいと私は思っています。

○11 番 湯原隼太議員

11 番議員の湯原隼太です。私は今焼津市に住んでいますが、沼津市民はとても活気にあふれた人が多いと思います。それは、沼津を盛り上げる一つの力であり、誇りだと私は思います。また、私の挑戦は Today's accomplishments were yesterday's impossibilities. これを意識すると今日の成功は昨日の失敗だ。僕は充実した 1 日 1 日を生むことで毎日少しでも成長していこうと思います。

○12 番 瀬川幸美議員

12 番議員の瀬川幸美です。私の思う沼津の誇りは南口近くにあるライブハウスです。住宅街にもかかわらず、高校生や若者、音楽好きな大人の集いの場になっています。そこにいる人は誰もが輝いていて楽しんでいる、そんな素敵な場所です。かく言う私も音楽好きです。そんな私の考える挑戦は、沼津の音楽文化を盛り上げることです。鉄道の高架化がなされたら、高架下にライブハウスやスタジオをつくりたいと思います。例に挙げますと、静岡市にあるライブハウス「ROXY」という高架下のライブハウスがあります。そこには多くの音楽好きが集まり、駅から近いことも相まって、県外からいらっしゃる方もいます。そんな場所が沼津にもできれば“凱旋ライブ”と称して地元でライブをしてくれるアーティストもいるかもしれません。それを求めて、沼津を地元とする皆さんが、そして、他の地域の、他の県の皆さんが沼津に来てくれます。よって、沼津駅、更には沼津市の活性化になると思います。もしできれば、ぜひそこで働きたいと私は思います。よって、私の思う沼津の誇りは、「沼津 POCO」というライブハウスがあること、挑戦はさらに音楽文化に関する施設を沼津市につくること、そして私もそれに関わることです。

○13 番 望月侑貴議員

13 番議員の望月侑貴です。私にとっての沼津の誇りは、2019 年の秋にオープンした「ららぽーと沼津」です。私たちが中高生のころは、沼津には充実した食と多彩なブランド、シネマなどのアミューズメントなどが集結した施設はありませんでした。沼津市にこのような施設ができたことはとても素晴らしいことだと思います。交通の便でも沼津駅・片浜駅からバスも運行しているし、車でも近くにスマートインターチェンジもできたので、とても便利だと思います。ですが、混雑している日の国道 1 号線の渋滞がひどいので、少しでも緩和するように工夫が必要になってくると思います。

○14 番 林愛菜議員

14 番議員の林愛菜です。私にとっての沼津の誇りは、少し古くてあたたかい景観です。夕暮れ時にオレンジ色に染まった景観を見て心がじーんと温まる、そんな素敵な場所が沼津にたくさんあると感じます。鉄道高架事業を始めとした地域開発が進行する中で、心温まる沼津の景観を守りながら、人々の暮らしを充実させていくことが、今後の沼津において必要となってくると思います。

○15 番 若林空良議員

15 番議員の若林空良です。私にとっての沼津の誇りは、環境問題に対する取り組みの意識が高いことです。私は現在、東京で学生生活を送っていますが、東京で暮らす

人々の多くはごみ処理の意識が低く、可燃物やビニール、ペットボトルなどを分別しないで捨てている人が多く見られます。なので、上京して初めて、沼津の人々のごみ処理に対する意識の高さに気づかされました。私は現在、大学で化学を学んでいますが、環境問題と化学は密接に関係しているので、沼津市の環境問題に対する意識の高さを見習って、将来はより環境に優しい素材の開発などに尽力したいと思っています。

○31 番 眞城味佑議員

31 番議員の眞城味佑です。私にとっての沼津の誇りは、豊かな自然です。特に私は生まれ育った戸田地区では、海が住民の生活の中心となっています。私たちはこのきれいな海を守っていかなければならないと思います。

○30 番 大石菜摘議員

30 番議員の大石菜摘です。私にとっての沼津の誇りは、豊かな自然です。私の生まれて育った浮島地区では、数年前からひまわりを育てています。毎年きれいな花が咲き、多くの人が富士山と一緒に写真を撮っています。また駿河湾沼津サービスエリアのスマートインターチェンジや「ららぽーと沼津」がオープンし、市外や県外から多くの人が集まってきています。地元の人以外にも、美しい自然を感じてもらえたら嬉しいと思います。

○29 番 神之田純平議員

29 番議員の神之田純平です。私にとっての沼津の誇りは、豊かな自然と人の温かさです。沼津に住んでいたころは当たり前のことでしたが、沼津を離れ違うところで生活してみて、沼津の自然と人の温かさは他の土地にはないすばらしいものだと感じることができました。また、大型商業施設「ららぽーと沼津」ができ、人の往来が増えているため、沼津を訪れた人に沼津の良さをもっと知ってもらって、将来のこのまちに住みたいと思えるようなまちづくりを進めていくことが大切だと思います。私自身も将来沼津に戻ってきて、まちづくりに貢献できるよう勉強に励みたいと思います。

○27 番 植松源議員

27 番議員の植松源です。私にとっての沼津の誇りは海岸沿いの防潮堤とびゅうお及び千本松原です。これらは津波や高潮などの自然災害の被害を大きく軽減してくれます。それにより、市民にとって最も重要なことで最も基本的な、安全である、ということに大きく貢献できています。新成人としての私の挑戦は、人間として成長し続けることです。知識や経験を蓄積して、時間を経るとともに、より一人前の大人に

近づいていきたいと考えています。

○26番 初又春奈議員

26番議員の初又春奈です。私にとっての沼津の誇りという話を考えたときに、幾つも浮かんでしまって一つに絞れなかったのですが、例えば、皆様が言った通り自然の豊かさだったり、伝統的なお祭りだったり、それらを考えたときにこの沼津にあるお祭りというのは、沼津の良さを詰め込んだお祭りが多いということに気づきました。ここで沼津の挑戦として思いついたのが個人的な意見ですが、今「ラブライブ!サンシャイン!!」を使って、沼津は活性化をしていると思いますが、それと並行して、沼津市全体で大きな祭り、そういう括りをつくって、各地域それぞれのところで祭りを同時期に行って、ツアーではないですが、そういうふう沼津全体を回れるような、企画を考えて、沼津全体で、一つのことを目標を作ってやったら、きっと楽しく、沼津に住んでいる私たちも楽しめると思うので、希望ではありますが、財政等の問題も大変だと思いますが、挑戦としてはすごく楽しいのではないかなと思います。

○4番 遠藤寧々議員

4番議員の遠藤寧々です。私にとっての沼津の誇りは千本浜からの富士山の眺めです。千本浜の堤防から海と松と富士山の景色を見ると、沼津にいてよかったなと思います。そして挑戦は、大学での勉強です。大学では情報を学んでいますが、プログラミングだけではなく、デザインや映像制作も学んでいます。それらをしっかりと学び、人の目を引くような沼津のPRができるようなものを作りたいと思います。

○5番 鈴木拓実議員

5番議員の鈴木拓実です。私にとって沼津の誇りは自然に囲まれた美しいまちであるということです。私は現在県外の大学に通っており、ひとり暮らしをしています。そうしたことでわかったことが幾つかありました。水がおいしい、自然が豊か、ごみの分別が多い、といったことです。ごみの分別に関しては、沼津が日本で初めて分別収集を行ったそうです。その結果あってこそ、今の沼津があるなどと私は思いました。分別収集を行うことによって、リサイクルなど、そういったことがしやすくなっています。それに関して、私の挑戦として考えたのは、リサイクル活動に目を向けていきたいということです。現状日本ではごみの埋め立て問題に直面しており、再利用できるものをリサイクルして、なるべくごみを減らしていきたいと考えています。なので私は、リサイクル活動に目を向け、さらには実践をしていきたいと思っています。

○6番 遠藤美音議員

6番議員の遠藤美音です。私にとっての沼津の誇りは、沼津市民の人としての温か

さと、そのネットワークの強さです。美しい山、海と豊かな自然に囲まれながら知恵を絞り、たくましく生きる沼津の地元の皆様に幾度となく助けられてきた思い出があります。特に、父の職場である沼津の港の皆さんの活気には本当に勇気づけられました。勉学で行き詰まったときにも、応援してくださっている地域の方々への感謝を示そうという気持ちが私の背を後押ししてくれたと思います。私もそんな沼津市民の一員として、個人の話になりますが、さらに優秀な後輩たちの励みになるような結果を勉学、主に語学において残せるよう挑戦して参る所存です。

○20 番 廣瀬侑果議員

20 番議員の廣瀬侑果です。私は、現在保育学部に通っており、将来は沼津市で保育士として働きたいと考えております。沼津市は豊富な子育て支援事業やサービス、医療体制の充実により子供が心身ともに健やかに生まれ育つための環境が充実していることが魅力であると思います。このため、多様な遊びや学びの場を提供することができ、子供たちが楽しさや充実感を持って成長できる環境にあります。沼津という地で、のびのびと育ち自分が生まれ育った沼津を誇りに思ってもらえるような保育を提供したいです。そして、保護者の方が安心して子育てができるように、沼津市の子育て支援事業やサービスを活用して、保護者や地域の方と、子育ての喜びを分かち合い、子育てに関する知恵や知識を交換しながら、社会福祉の専門職として子供たちとその家族を支えていきたいです。そうすることで、沼津市の子育て力の向上に貢献したいと考えています。

○18 番 西村有里議員

18 番議員の西村有里です。私にとっての沼津の誇りは、昨年 10 月にオープンした「ららぽーと沼津」です。こちらのららぽーと沼津は「ラブライブ！サンシャイン!!」を起用し盛り上がっていると思います。こちらにまた沼津の長所を取り入れて更に盛り上がっていったらいいなと思っております。私にとっての挑戦は、自分のスキルを上げるために、たくさんの資格を取ることです。もしその知識が沼津の地域の貢献になるのならば、沼津へ恩返しをしたいと思っております。

○17 番 杉山遼議員

17 番議員の杉山遼です。私にとっての沼津の誇りは、美しい風景と過ごしやすい気候です。富士山や駿河湾といった山も海も身近にあって、自然を感じられるというのはとても素晴らしいことで、また、気候も穏やかで年間を通して非常に過ごしやすい環境であるということ、沼津を離れてみて初めて感じました。そして、現在、私は大学で高分子材料や有機材料について学んでいるのですが、その学びを生かして将来我々の生活をさらによりよくする、そして、環境に優しい材料の開発に挑戦したい

と思っています。

○34 番 鈴木沙知議員

34 番議員の鈴木沙知です。私にとっての沼津の誇りは、自然と人間の共生から織り成される豊かな文化と産業であると思います。沼津からは、まずスポーツ選手、アナウンサー、小説家、デザイナー、映画監督、アニメディレクター、俳優、女優、政治家、コスチュームアーティストなど、多方面で活躍されている方々がいらっしゃいます。ですが、それを余り知らない市民の方は多いと思います。恐らく、知る機会がないからではないでしょうか。今回、私も調べてみて初めて知る方がたくさんいらっしゃいました。もしこれらを小学生、中学生の頃に知っていたら、また、現在活躍されている方々と直に触れ合う機会を設けられたなら、市民の沼津を誇りに思う気持ちが強くなり、沼津に住む、または一度県外に行っても沼津に帰ってくるという選択をされる方が増えるのではないのでしょうか。頼重市長様並びに日頃より市政に御尽力されている皆様には一市民の意見としてご考慮いただければと思います。

○35 番議員 山田真理子議員

35 番議員の山田真理子です。私にとっての沼津の誇りは、若者の視点を積極的に取り入れて市を活性化しようとする活動やイベントが数多くあることです。高1の時にコラボ甲子園という高校生と企業がコラボして沼津のお土産を作り出そうというイベントに参加させていただきました。そこで、沼津をより魅力あるまちにしようとして活動される多くの方々に接し、まちづくりに対する意識が自分の中に芽生えたように感じます。挑戦としては、これらの活動が一般的に、特に若い世代や外部に余り知られていないように感じたので、同世代や留学生などの交流を通して、沼津の良さを直接あるいはSNSなどで発信するなど、自分にできることから始めたいと思いました。

○36 番議員 加藤直議員

36 番議員の加藤直です。私にとっての沼津の誇りは、開かれたホームタウンであることです。昨年フェンシング 4 カ国合同合宿に多文化共生ボランティアとして参加し、沼津市の国際性に感銘を受けました。また、活気あふれるまちづくり、いきいき暮らせるまちづくり、魅力輝くまちづくりに挑み、スマートシティを目指す姿は誇らしく思います。一方で、地元の食や地域の方々のあたたかさは、私を安心させてくれるかけがえのないものです。私自身も国際社会と地域社会の双方に目を向けることに挑戦し、開かれたホームタウン沼津市とともに進化を遂げてまいります。



○議長(長嶋晃汰)

私にとって、沼津の誇りはとても暮らしやすいまちであるということです。私は現在、沼津市内に住みながら、東京都内の大学へ通っています。友人などから通学が大変ではないかと言われることも少なくないのですが、起床時間が特別早かったり、帰宅時間が特別遅かったりなど大きな負担がなく、毎日の通学ができています。駿河湾や香貫山、愛鷹山といった豊かな自然を持ちながら、首都圏への交通の便が良い沼津市は非常に住み心地がいいまちだと思います。この、暮らしやすいまち沼津市で生まれ育ったという誇りを胸に、沼津市内や静岡県内はもちろんのこと、全国、世界で活躍できる人材になっていきたいと思っております。そのためにも、本日、新成人議会の議長という大変貴重な経験をさせていただきましたように、学生時代でないといけないことに積極的に挑戦してまいりたいと思います。